

なかどまり

第25号

平成23年8月発行

議会ガイド



青森県町村議会議員研修会

「二元代表制と議会の価値」

講師 東京大学名誉教授 大森 彌氏

平成23年7月15日(金)

〈主な内容〉

- 第2回定例会 …………… 2
- 一般質問 …………… 5
 - 荒関 富雄 議員 …………… 5
 - 塚本 悦子 議員 …………… 6
 - 青山 雅晴 議員 …………… 8
 - 川山 光則 議員 …………… 6
- 委員会だより …………… 10
- 議会の動き …………… 10



専決処分、補正予算、条例改正案を

全会一致で承認、可決

平成23年6月6日、平成23年第2回中泊町議会定例会が開会。

会議録署名議員に兵庫桂蔵議員、青山雅晴議員を指名し、会期を10日までの5日間とした。9日に一般質問、10日に単行案審議が行われた。

今回、町から提案されたものは、報告14件、議案7件の計21件。原案のとおり承認、可決した。

また、民生文教常任委員会に付託されていた陳情第1号について閉会中の継続審査の申し出があり、決定した。

町長提案理由説明



本日、平成二十三年第二回中泊町議会定例会を招集いたしましたところ、議員の皆様方には公私ご多忙中にも関わらず、ご出席をいただき、ここに開会できましたことを厚くお礼申し上げます。

東北地方太平洋沖地震の発生以来三か月を迎えようとしておりますが、被災地からは今なお多くの人々が避難所生活を余儀なくされるなどの窮状が伝わってきております。

定例会開会にあたり、このたびの大震災で亡くなられた方々のご冥福を心からお祈り申し上げますとともに、遠い地からではありますが被災された方々に深甚なるお見舞いを申し上げます。

さて、今定例会に提出いたしました議案等は、被災地支援に関連した専決処分の報告など合計二十一件であります。議事の進行に従いご質問に応じ詳細にご説明申し上げますと存じます。

なにとぞ、慎重ご審議のうえ、原案どおり御議決並びに、ご承認を賜りますようお願い申し上げます。提案理由の説明を終わります。

主な専決処分

■東日本大震災関連予算(一般会計分)

(単位：千円)

①	町災害対策経費(避難者用炊き出し、燃料費等)	308
②	東北地方太平洋沖地震災害見舞金(無洗米10kg×210袋)	507
	被災地への米運搬料	110
③	職員を被災地へ派遣する費用(宮城県名取市3名派遣分)	328
④	一般職員派遣準備経費(作業服等)	138
⑤	職員を被災地へ派遣する費用(岩手県宮古市4名、3名派遣分他)	702
	東北地方太平洋沖地震災害見舞金(階上町1,500千円、宮城県女川町1,500千円)	3,000
⑥	芦野地区用水路復旧応急仮工事	8,000
合 計		13,093

■その他(一般会計分)

(単位：千円)

①	議場放送設備改修工事	328
②	投票用紙計数機 1台	382
③	防雪対策費(町道除雪業務委託料)	15,000
④	折腰内交流施設ソフトクリームフリーザーリース料	264
合 計		15,974

■特別会計

(単位：千円)

①	国民健康保険特別会計事業勘定繰上充用金	△60,936
②	国民健康保険特別会計診療施設勘定繰上充用金	15,774
合 計		△45,162

町営による 災害復旧事業の 施行について

- ・地区名 芦野地区
- ・番号 32-101
- ・工種 用水路
- ・数量 1,720ha
- ・被害額 18,000千円

町営による災害復旧事業として実施する場合、議会の議決を要するものであるが、早期仮復旧を実施しなければならなかったことから専決処分したものを。

条例改正

・中泊町過疎地域における固定資産税の特別措置に関する条例の一部改正について

・中泊町半島振興対策実施地域に係る固定資産税の特別措置に関する条例の一部改正について

・中泊町承認企業立地計画に従って設置される施設に係る固定資産税の特別措置に関する条例の一部改正

改正内容

期間を平成23年3月31日から平成25年3月31日に改めるもの。

改正内容

・中泊町税条例の一部改正について
先の大震災により被災された方に対する、雑損控除の特例、住宅借入金等特別税額控除の適用期限の特例、固定資産税の特例を受けようとする者がすべき申告等の条文を追加するもの。

補正予算

■一般会計補正予算第4号の主なもの

(単位：千円)

①	就労継続支援(A型)事業	5,086
②	農産物加工施設建設基本設計策定等	9,351
③	若宮地区経営体育成基盤整備事業調査設計委託料	6,300
④	小泊小学校煙突撤去工事設計・監理委託料	1,397
⑤	体育センター屋根等改修工事	5,500
合 計		26,237

■その他補正予算

国民健康保険特別会計補正予算第2号、介護保険事業特別会計補正予算第1号、特別養護老人ホーム静和園事業特別会計補正予算第1号、水道事業特別会計補正予算第1号については、4月の人事異動に伴う、職員人件費の増減。

条例改正

・中泊町国民健康保険税条例の一部改正について

改正内容

国民健康保険法施行令及び地方税法施行令の一部改正に伴い、課税額及び賦課限度額等の変更と税率等を改めるため条例の一部を改正するもの。

税率にして、12.07%の引き上げとなる。

傍聴席は、あなたの席です！！

中泊町議会 平成23年第3回定例会は、9月初旬です。
会議は公開されており、どなたでも議会の傍聴ができます。
平成23年第2回定例会の傍聴者は、8名でした。
皆さんの傍聴をお待ちしております。

一般質問を町ホームページにてライブ中継実施しています。

インターネットが使えるご家庭では、
自宅にしながら、一般質問をご覧になれます。
また、同じライブ中継を
「パルナス」、「小泊支所」、「すくすくしたまえ館」にてご覧になれます。
皆様のご利用をお待ちしております。

一度、町議会へ足を運んで、自分の目でご覧下さい

一般質問

6月定例会より 対面方式を採用

議会改革の一環として、従来は演壇から質問を行っていたものを、新たに、質問席を設けた対面方式に改めました。
これにより、理事者と向かい合った形で、より白熱した議論が期待されています。

6月9日、一般質問が行われ、荒関富雄議員、塚本悦子議員、青山雅晴議員、川山光則議員が質問席に立った。
各議員の質問内容及び理事者側からの答弁は、以下のとおりであった。

荒関富雄議員



●排水溝の整備について

小泊地区コンビニ前、中里地区の向町の寺町、北大パチンコの裏、中央ストアの前の取水枘などで排水不良が起こっていることから、排水溝ではなくて、導水路的なものを整備してはどうか。

●交通安全対策について

宮野沢地区に昔から雪が降るたびに流れのいった場所があるのです。そして道路が1本新設された交差点のところですが、新しい道路ができて環境が変わったことで、道路の重要性が増してきたと思うので、防雪柵の整備の実施計画を立てていただきたい。

答弁者 三上環境整備課長

●排水溝の整備について

小泊地区コンビニ前の排水路整備については、現在津軽沢砂防事業により県が整備中で、平成19年度から現在の事業を進めており、克雪センター付近の砂防堰堤及び町道付替工事を平成24年度までに完了し、その後コンビニ付近を含む溪流保全工として水路を交差点側から順次整備する予定です。

中里地区向町、通称寺町の排水路は、製品が入っているものの、断面や勾配について全体的な見直しが必要なことから、現地を調査し、整備に向けて検討します。

中里地区派立の北大パチンコ裏の排水路については、以前に水路の泥上げを町で行ったとき、状態を調査したところ、水路が建物の下になっているため、十分な調査ができませんでした。今回排水不良改善に向けて再調査を行いたいと考えております。

●交通安全対策について

宮野沢集落内の幹線道路の町道11号線と運動公園へ通じる町道404号線を結ぶ延長98メートルの町道397号線は、吹きだまりができやすく、除雪の出動回数も多い路線となつていますので、今後固定柵や仮設柵、それらの費用等について検討したいと考えております。

塚本悦子議員



●災害弱者及び町民への
防災対策について

大規模災害時には、特に災害弱者への対応が重要となっているが、町ではどのような対応をするのか、しているのか。

それに関連して、1. 災害弱者の対策、行動計画についての有無。2. 災害用食糧備蓄についての有無。3. ハザードマップに掲載されている避難所の耐震強度はどうか。4. 小泊、下前地区の防波堤、防潮堤の有無、強度について。5. 自然エネルギーの活用構想計画についての有無。

これらに関連する今後の町の地域防災計画の構想について当局の考えを伺いたい。

答弁者 小野町長

●災害弱者及び町民への
防災対策について

町では、災害に備えて防災計画を策定し、防災無線の整備や自家発電設備の整備などを進めているところです。

災害弱者対策については、災害時要援護者台帳を作成し、災害時にいち早く救助等対応できるように取り組んでいます。対象者が年々変更になることから、民生委員の方々の協力を得て台帳の更新を行う予定です。

これからもそれぞれの条件に応じた救援体制を強化するよう努めます。

町民への防災対策については、地域住民の防災活動の活性化を図ることとは非常に重要なことであり、自発的に災害に取り組んでいただけるよう、基幹的避難所に発電機の設置、防災訓練の指導などを実施し、地域住民が自主的に運営できる自主防災組織を結成するなど、地域防災力の向上に努めたいと考えています。

答弁者 工藤福祉課長

●災害弱者及び町民への
防災対策について

昨年度に災害時要援護者支援台帳を整備し、今後は個別避難支援計画を策定する予定です。

また、行動計画であります。町には老人福祉施設10カ所、障害者施設4カ所、児童施設5カ所と、多くの要援護者施設が点在し、各施設とも独自の防災計画のもとに防災訓練を実施しています。先般5月28日には、町が実施した土砂災害の避難訓練にグループホーム、障害者福祉ホームきりん館の入居者、職員の参加のもと、避難訓練を実施しました。今後関係機関と連携を図り、在宅要援護者をも含めた避難体制を構築します。

答弁者 秋元総務課長

●災害弱者及び町民への
防災対策について

現在、災害用食糧品の備蓄はありません。今後はどの程度の備蓄が必要か、また備蓄の場所など行動計画を策定し、災害に対応したいと考えています。

次に、避難所の耐震強度については、昭和56年6月に建築基準法が改正され、新基準が施行されたことから、それ以前に建設された建物が耐震診断の対象となり、耐震診断が必要な避難所は中里地域が10カ所、小泊地域が4カ所となっていることから、計画的に診断を行います。結果に基づき避難所指定の変更などを進めます。

次に、自然エネルギーの活用構想計画の有無については、平成20年2月に中泊町地域新エネルギービジョンを策定しています。木質ペレットやもみ殻燐炭の製造などが行われており、当町の余剰材料を原料としたもので、先進的な取り組みとして期待されています。今後も、計画に基づいたエネルギー政策を進めてまいります。

答弁者 赤石水産観光課長

●災害弱者及び町民への
防災対策について

小泊地域には防潮堤はなく、道路沿いの護岸はすべて道路護岸として設置しています。防波堤については、小泊、下前両漁港にあり、青森県が事業主体となつて整備を進めており、小泊漁港は、第4種漁港として避難港の役割も担っており、高さは海面からおおむね5メートル、また、下前漁港は海面からの高さはおおむね7メートルです。

近年両漁港の防波堤から越波が著しく、漁船の損傷被害が発生することから、県では平成20年に漁港漁場整備計画を変更し、防波堤を高いところで3・8メートルかさ上げ改良し、安全な係船を確保するとともに、避難港としての機能向上を図るため、現在も整備を計画的に進めています。

塚本悦子 議員再質問

小泊、下前地区では、低地から高台へ上がる避難道路を各所に設けてはどうか。自然エネルギーについては、現在太陽光発電は、各自自治体で助成していることから、町でも前向きに実行していただきたい。想定外の大災害が今後起きるかもしれないことから災害担当部門を設けて、災害エキスパートを養成する考えはあるのか。また、放射線のリスク、正しい知識を教えるために、放射線の全般的な特別授業を中学生にしてはどうか。

答弁者 小野町長

災害担当部門について、今考えているのは、各地区において自治体消防団を軸にしたものを育成できないか。行政連絡員、民生委員なども一緒にしながら検討したいと考えており、できるものからやってみてみたいと思います。

答弁者 加藤教育長

中学生に対する放射能、放射線等の指導について、両中学校の校長とお話しして、どの程度先生も知識があるのか、あるいは指導書などどの程度書かれているか、などを全部確認して、講師を呼んで教えるということも1つの方法だろうと思いますので、確認したいと思います。

答弁者 秋元総務課長

自然エネルギーに対する町の補助体制については、現在国、県等の補助事業を使いながら各種事業を行っています。

今後町で助成できるものかどうかも含め検討し、例えばモデルになるようなのであれば町もそれにかさ上げするとか、補助、助成、支援をしていきたいと考えています。

答弁者 赤石水産観光課長

避難道路について、港団地の裏には車両が通行できるほどの避難路は設けてあります。

一般住宅の避難路についてはきちつとした形でできるかできないか、検討させていただきます。

青山雅晴議員



●放射線量測定装置の設置について

本県には、六ヶ所村、大間町、東通村と核燃料を扱う施設があるわけですが、放射能漏れが発生し、陸奥湾を越えたと私たちのところにも被害を及ぼします。町に高度な放射線量測定装置を設置する考えはあるか。また、町民に対して手軽に観測できるものも準備する予定はあるか。当局の考えを伺う。

●U字溝の見直しについて

昨年の集中豪雨で当町に多大な被害を及ぼしましたが、特に小泊地区の被害の大きさに驚いております。水路の水はけの悪さがなおさら被害を大きくしていると思うので、もう一度全町のU字溝の見直しをしてもらいたいが当局の考えを伺う。

答弁者 小野町長

●放射線量測定装置の設置について

町村会の会議の席で、関係機関の助成を受けながら県内各市町村にこの装置を設置するよう提案したところ、専門的な技術を持った人でなければ操作が出来ず、技術を持たない人が操作して、誤った結果が出た場合、逆に混乱を招くおそれがあるとの指摘を受けました。それよりも、県内の保健所などの専門的な機関にこの装置を配置してもらうよう、町村会としても働きかけた方がよいのではとのことでした。

簡易な放射線量測定装置については準備しておく必要があると思います。今後導入機器や方法については専門の方々からご意見をいただき、早い機会に導入したいと思えます。

それまでの間に町の農業者や漁業者から農産物や水産物の放射線量の調査依頼があった場合には、専門機関に相談するなどの対応をしたいと考えています。

答弁者 三上環境整備課長

●U字溝の見直しについて

今まで整備されたところであっても、U字溝の断面が大きかったり小さかったり、また舗装面との段差もあったり、それらが水の流れを阻害しているという現象もあります。

また、雨水がたまりやすい地形となつていたり、排水能力のない製品が入っているなどが考えられるので、今後、排水先や断面等について全町調査したいと思います。

川山光則 議員



●自然エネルギーについて

水力発電はもとより、風力、太陽光、地熱発電等さまざまなですが、県や国の資料を調査したら、当町でも実現できるものがあるのではないかと。いち早く探して、よいものがあるれば他市町村に先駆けて名乗りを上げ、実行に移すべきと考えるが当局の考えを伺う。

●小泊地区の水産漁業の今後について

ここ数年主力魚種であるマイカやヤリイカの地元水揚げが極端に少なく、漁業者だけでなく関連する業界も大変な状況にある。今後の小泊地区の水産業者等の所得向上には磯根漁業が有力だと思うが人工リーフ等はいまだ実現してない。議会議員は昨年若手県栽培漁業協会種市事業所に研修に行き、アワビやナマコ等の養殖を視察してきたが、町としてこれらの漁業に県や漁協と協力して進めていく考えはあるのか。

●選挙の簡素化について

選挙告示看板の多さ、投票時間の長さ、不在者投票の受付方法について当局の考えは。

答弁者 小野町長

●自然エネルギーについて

風力発電については、過去に東北電力の入札で落札しながら事業を断念した業者がありました。本当に残念に思います。そのほか、小泊地域に面する津軽海峡の早い潮流を活用した海流発電なども可能性はあると聞いています。太陽光発電についても、国には補助金がありますが、県、町はまだそこまで至っていませんが、前向きに検討し、各方面から情報収集し実現に向けて取り組んでいきたいと思えます。

●小泊地区の水産漁業の今後について

近年はつくり育てる漁業への転換を目指し、沿岸域に魚礁などの漁場整備を進め、計画育成に努めてきたところです。県の協力を得ながら、沿岸域に大小の魚礁や増殖場などの

●選挙の簡素化について

答弁者 秋元総務課長

投票所の閉鎖時刻繰り上げについては、市町村単独選挙の場合は市町村選管で特別な事情があると判断し、時間を変更して実施しても、県への協議、届け出は必要ありません。ただ、県あるいは国レベルの選挙になると県の選管との協議が必要となり、県が許可しないとできません。このことを考慮し、町の選挙で投票時間の変更が可能か、今後の選挙管理委員会に諮り、検討をお願いしたいと考えています。

ポスター掲示場の数は公選法に定められています。

不在者投票の件は、小泊地域でも受付できないか、今後選挙管理委員会あるいは県の選管等に問い合わせをし、対応したいと考えています。

選挙においてどのようなことから簡素化できるかということや今後の選挙管理委員会等で検討していただきたいと思えます。

整備を進め、魚介類等の育成に努めてきました。また、港内の生けすではメバル、クロソイの稚魚を中間育成し、漁場へ放流するなど、将来の水産資源枯渇に備えて、とるだけの漁業から育てる漁業への転換をしているところなんです。

しかしながら、平成8年から平成22年の間に、漁獲量が3分の1まで落ち込み、大変厳しい状況に陥っています。今後町では県、両漁協と一体となって、漁業の収入の安定に向けて引き続き稚魚の放流と資源管理の確保や、平成23年度から国の漁業所得補償制度の見直しにより、漁協が事業主体となって、漁業者を対象に漁業共済負担金の軽減がなされるものであり、町としてもそれに対する助成を漁協と相談しながら前向きに考えたいと思えます。

6 月

30日 つがる西北五広域連合臨時
会
西北五広域福祉事務組合臨時
会
24日 民生文教常任委員協議会
21日 西北郡町村議会議長会総会
10日 単行案審議、閉会
9日 定例会一般質問
6日 第2回定例会開会
3日 町村議会議長会臨時総会

5 月

26日 シルバー人材センター総会
民生文教常任委員会
24日 議会運営委員会
23日 商工会総代会
18日 町村議会議長研修会
17日 町村議会議長研修会

4月

28日 老人クラブ連合会総会
総会
26日 民生児童委員協議会総会
老人クラブ連合会小泊支部
23日 こども春物語ツアー

民生文教常任委員会

(川山光則 委員長) 5月24日(火)

〈案 件〉

- 新たな高齢者医療制度に関する陳情
- その他



議会運営委員会

(兵庫桂蔵 委員長) 5月24日(火)

〈案 件〉

- 平成23年第2回中泊町議会議定例会会期日程について
- 提出議案について
- 陳情書の審査結果について
- 新規に受理した陳情等の取り扱いについて
- その他

